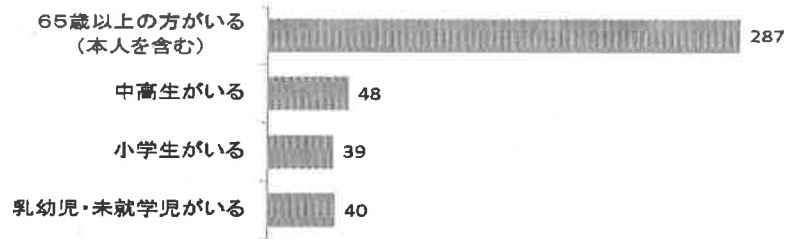


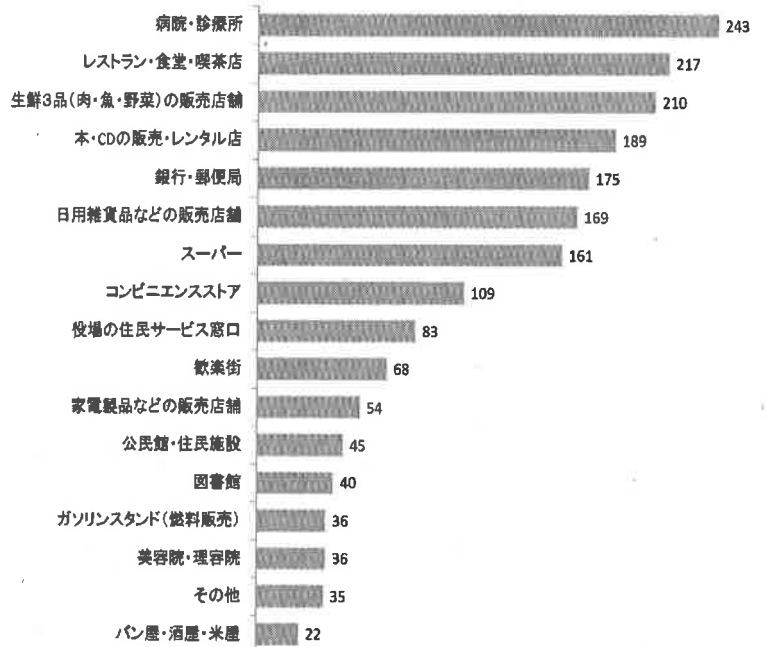
(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて

問 44 あなた（及びあなたのご家族）
は次の項目に該当しますか
（複数回答可）



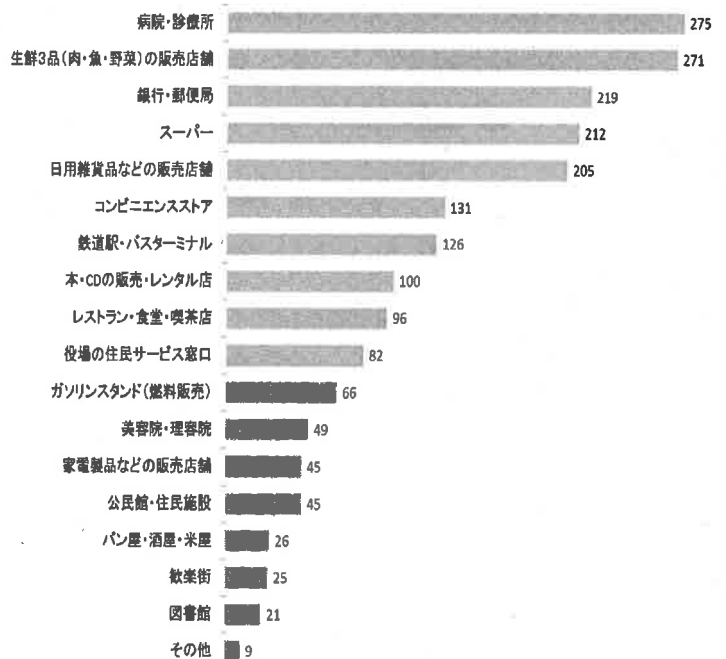
問 45 町民の暮らしを支える施設、機能が集中する白老駅周辺の拠点地区には、どのようなものが必要とありますか
（5つまで複数回答可）

「病院・診療所」と回答した人が 46.1%と最も多く、次いで「レストラン・食堂・喫茶店」が 41.2%、「生鮮 3 品（肉・魚・野菜）の販売店舗」が 39.8%、「本・CD の販売・レンタル店」35.9%、「銀行・郵便局」33.2%となっています。



問 46 日常的な生活を支える身近な各地区の拠点には、どのようなものが必要とありますか（5つまで複数回答可）

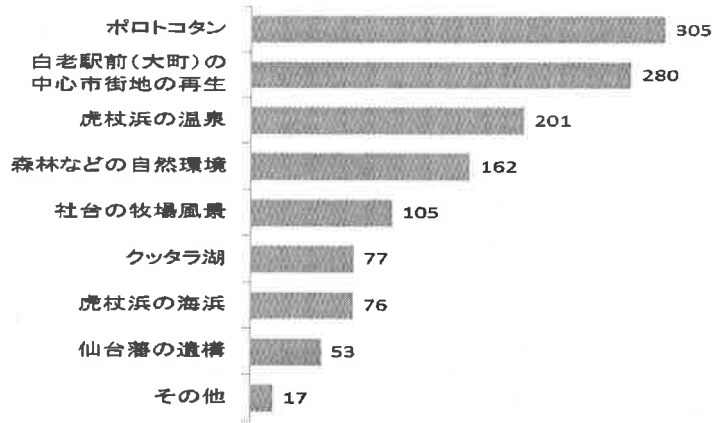
「病院・診療所」と回答した人が 52.2%と最も多く、次いで「生鮮 3 品（肉・魚・野菜）の販売店舗」が 51.4%、「銀行・郵便局」が 41.6%、「スーパー」40.2%、「日用雑貨品などの販売店舗」38.9%となっています。



問 47 これからも白老町として、大切に（重視）してゆくべき環境的な事柄にはどのようなものがあると思いますか

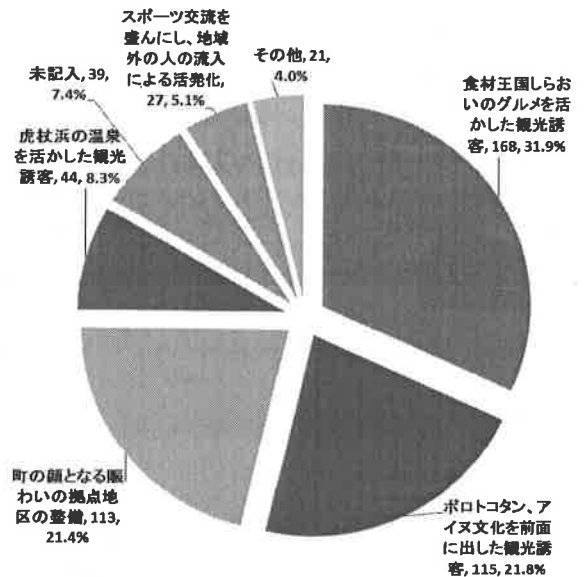
（3つまで複数回答可）

「ポロトコタン」と回答した人が 57.9%と最も多く、次いで「白老駅前（大町）の中心市街地の再生」が 53.1%、「虎杖浜の温泉」が 38.1%となりました。



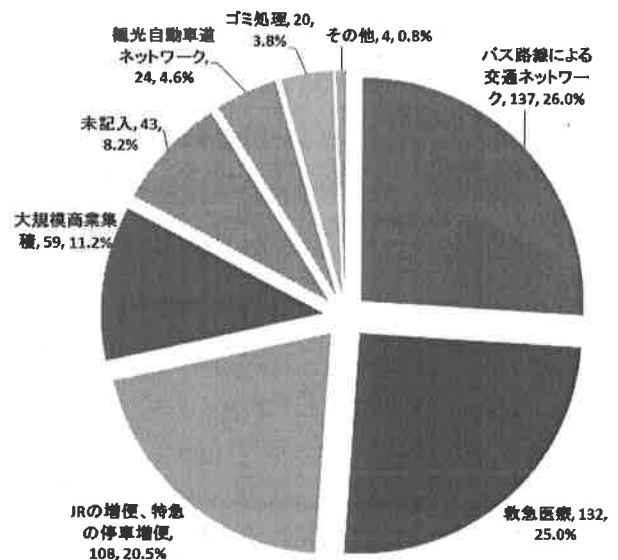
問 48 まちに賑わいや活力を創出するために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか

「食材王国しらおいのグルメを活かした観光誘客」と回答した人が 31.9%と最も多く、次いで「ポロトコタン、アイヌ文化を前面に出した観光誘客」が 21.8%、「町の顔となる賑わいの拠点地区の整備」が 21.4%となっています。



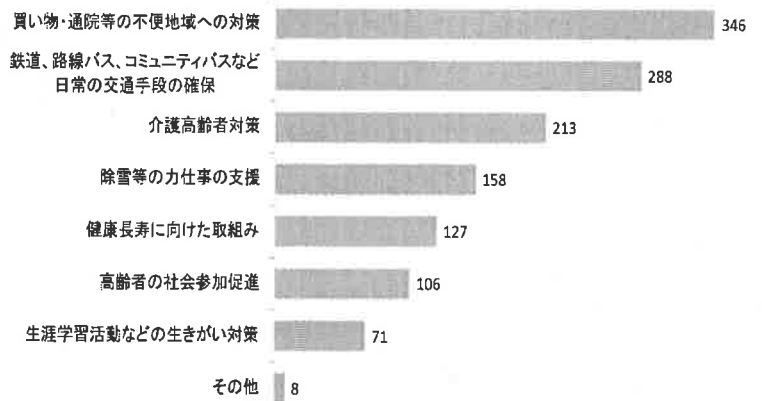
問 49 白老における暮らしを守るため、周辺の地域とどのような広域的な連携が必要だと思いますか

「バス路線による交通ネットワーク」と回答した人が 26.0%と最も多く、次いで「救急医療」が 25.0%、「JRの増便、特急の停車増便」が 20.5%となっています。



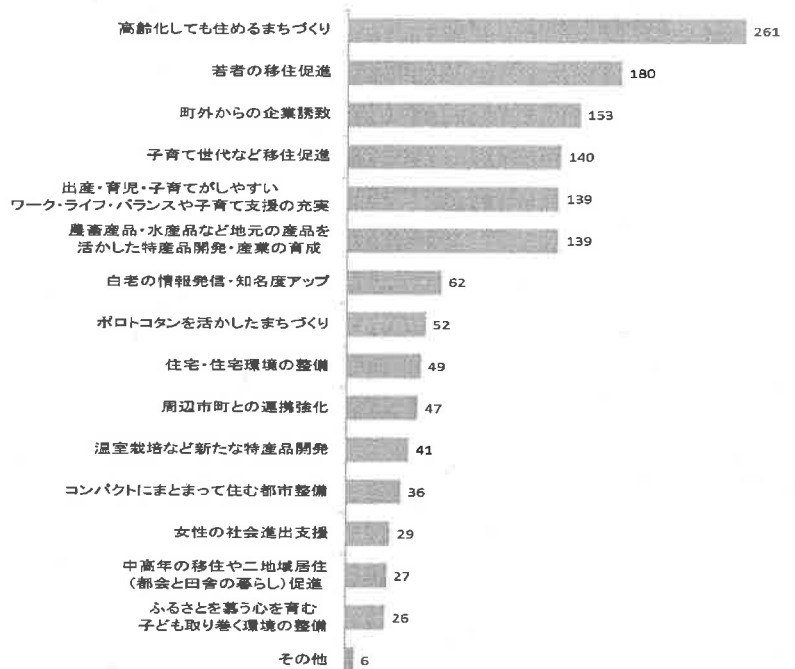
問 50 これからも進む高齢化のなかで暮らしてゆくためには、どのような環境の整備が必要だと思いますか（3つまで複数回答可）

「買い物・通院等の不便地域への対策」と回答した人が 65.7%と最も高く、次いで「鉄道、路線バス、コミュニティバスなど日常の交通手段の確保」が 54.6%、「介護高齢者対策」が 40.4%となっています。



問 51 今後、町として取り組むべき重点施策分野はどのような分野だと思いますか（3つまで複数回答可）

「高齢化しても住めるまちづくり」と回答した人が 49.5%と最も多く、次いで「若者の移住促進」が 34.2%、「町外からの企業誘致」が 29.0%、「子育て世帯など移住促進」26.6%となりました。



問 52 白老町について、ふるさと自慢したいこと、広くPRするべきと思うことなど（自由意見）

- 白老牛、たらこ、たまご、、おいしい物がたくさんあります。冬は雪が少なく、ランニングをされる方には最適。札幌などの方は、走る場所を探すと聞きます。3月には外が走れ、温泉に入り、おいしい物を食べ、楽しめると思います。走れるまちPR
- タラコ、牛肉、しいたけなど、テレビ新聞などで見る事があり、自まんするものがあり心の中で喜んでいきます。
- 白老牛の増産、海産物製造、のPR
- 白老牛、海山物、温泉
- ポロトへの案内版が小さく、もっと大きくわかりやすいように表示してもらえれば喜ばれると思います。
- 牧場風景の美しさ、白老牛や海産物の美味しいこと
- 全国、各国、国立公園なるのに、アンケート取るのが遅い（町の駅を作る、地元の産品を活かした特産品）
- 白老牛、水産、野菜など

- 白老牛のコストを下げ、町民にも気軽に食してもらおう事
- 白老町は何か他の町村に比較して、温暖な地区である事を外部に向けて発信すべきである。
- 社台の馬が自然ととけ合った風景（私、大好きです）やはり自然景色が身近に有る所です。
- ポロトコタン、アイヌ文化は素晴らしい可能性を持っていると思います。参加者をつのって、アイヌの民話で町民劇をしたり、もっと子供達をとりこむといいのでは。子供が喜ぶことには親もついてくるので。馬についても、もっと広くPRしていいと思います。白老ファームは防役の面から環光に参加するのは難しいですが、町内のいくつかの牧場等をもっと活用しない手はないのでは。たまにすくすくに馬がくる程度ではもったいないです。
- 食材が豊富。温泉付の家に住める。でも国道を通過する人たちにはゴーストタウンと呼ばれている。
- 白老牛、温泉
- 魚が安くて旨い、釣りができる、馬がいる、牛がいる、自然が沢山ある（海、山、川）
- 人情のある住民
- 温泉があり、雪が少なく、くらしやすい事をもっとPRすべきです。
- 2020年度に出来るアイヌ文化博物館へ観光客の誘致をする等、ネットを活用して海外観光客の獲得を取り込み白老町を活気ある町にして地元の産物販売と税収のアップにつなげてはどうですか。
- 牛肉まつりはもっとPRしても良いと思う。生産者の皆さんも頑張っているのだから。他にも「たらこ」etc 水産物をPRしていても良いと思います。とても美味しくて好きなので。
- 食材王国しらおい、牛肉、たらこ以外ももっとPRして欲しい
- ポロト湖～キャンプ場には多くの野鳥がおり、一年を通じて観察することができます。カメラマンやバードウォッチャーは道内各地や道外からも訪れる人が多いのです。探鳥地としても有名で本でもよく紹介されているのをご存知でしょうか？自然を守り、多くの野鳥がいることを今後アピールしていけば良いと思います。
- 「元気まち白老」をキャッチフレーズにしていますが、現在の町の姿、商店街の在り方を含めて今一、キャッチフレーズに合ったとは言えません。若者が大いに台頭すべきでは、そのような企画を導入しては。
- 農産品、水産品を広くPRする。
- 2020年のアイヌ民族共存にむけて、白老牛、しいたけ、たらこ等の食のPR
- 白老牛が美味と遊びに来た友人が喜んで帰った。
- 自然豊か
- ポロト、アイヌ、白老牛、たらこ、湖、海、山、なんでもある白老、もっと上手にアピールして、町全体がいきいきしてほしい。
- ①おいしい食べ物がたくさんあること②温泉
- やはり、食材でしょうか？
- 他の自治体（本州）に住んだ事が在りますが白老の地名依りシャダイ（社台）の地区名がけっこう認知されてます。つまり競走馬の故郷イメージです。馬産地日高依り現在は有名です。
- 水産物
- 豊かな自然のんびりすごせる温泉、おいしい農水産物、きれいで豊富な水資源、団塊の世代のマンパワー、涼しい夏、きびしい自然を生きぬくためのアイヌ文化と知恵。
- 温泉
- 白老町の海と山にはさまれたゆたかな環境であり、また両方あるので水産業、農業、そして大きな川、きれいな水、まつり事。
- 農水産品のPR
- 自慢、PRの問題ではなく白老町民がもっと白老町のことを知ることが大切なのでは？
- 自然豊かなまち
- 温泉、食べ物に関してもっとメディア広告すべき。
- 温泉、土地の広さを利用した産業を持ち込む！！元気な町のとおり町民達の元気を打ち出す事。
- 道の駅を作り、白老の特産品販売を通じPRしていく。
- 食材、企業誘致

○引越して2年ほどですが、正直まだふるさと意識があまりありません。まだ白老を知って、愛着を持つ途中段階ですので、今はまだ特に回答することができません。引越し前の印象や知人の印象ではやはり「タラコのまち」というイメージが強いようですので、もう少しアイヌ関係をPRするのも良いかも。

○白老町ほど食材に恵まれた地域はあまりないと思いますので、ブランド化しても高値にしすぎず、沢山の方に味わってもらえる様にしたら良いかと思います。

○水がキレイ、空気がキレイ、美味しい食材が多い。花壇が多くて美しい。

○虎杖浜のたらこはおいしいと思う。

○水がおいしいこと。食材（肉、野菜、魚、山菜）が豊富でおいしい。福祉に力を入れてる所

○2020年国立博物館のPRをまち全体で「おもてなし」の心をもってやるべき。（白老町の盛り上がりが少ない）

○山菜の種類が豊富、釣れる魚の種類が豊富

○目玉になるものをつくる

○白老牛などの特産品をPRする、温泉地としてのPR

○おいしい食べ物が多い

○魅力ある食材がある事

○雪が少ない、治安がいい、近くに大きい市が複数ある

○釣りに地方からも来てるのでPR

○子育て支援や特色ある学校教育など若い世代がこの白老で子育てしたいなあと思える施策を推進しPRしていきましょう。

○何をやるにしても、すぐそれによって金もうけしようとする人がいるのが残念です。2020年のアイヌ文化博物館開設に向けて必ずもくろんでくる人間が出てくると思います。そんな人間がいるかぎり白老町は変化しないでしょうネ。

○人情の熱いところ

○白老町をPRする時、欠点も書いたらどうでしょうか。どこの町も良い事ばかり書いたり言っているのを見るとウソー！と言いたくなります。

○観光はポロトコタンしかないと思いますので、無くしてはほしくないと思います。

○白老牛が美味しい！タラコが美味しい。温泉がサイコー！飛生キャンプ楽しい！

○温泉

○温泉が自宅にあること（一部だけ）、あたたかい気候、雪が少ない

○自然、緑の多い町であること。但し、鹿の多いことには困ってますが。

○夏涼しく雪が少ないこと、自然豊かな環境、白老牛、海の幸

○駅の商店街に木彫りの看板を！統一感が出ておしゃれになります。（東川町で良かったですヨ！）沢山の種類の温泉が出ています。足湯を沢山つくって、自転車を借し出して足湯ラリーをしてもらう！国道36号線を走って来ると、ウトナイ湖から休けい場所がありません。敷生川の河川敷トイレ、白老バーガー、白貝カレー等のレストランを造り、自転車公園をつくる。（子供達が喜びます。札幌の農試公園にあります）秋には鮭の大群が川を登るのが見れます。都会の人には魅力的です。広い駐車場もぜひ！

○観光の土産品をもっともっと他に知っていただきたい。小さな土産店にも特徴ある商品がたくさんあった。

○せっかくいい温泉があるのだから、温泉施設の整備支援を行い、登別温泉の影に隠れた温泉郷を目指す。観光客が増えれば名産品の販売にもつながり、認知度も上げられる。白老牛、虎杖浜温泉、たらこ、特産品はそろっているのでPRのしかたで白老も有名にできると思う。他の成功した市町村を参考にするなど工夫が必要。

○白老牛を世の中にもっと広めてください。

○高齢の方には冬場は除雪が楽な事でしょうか。

○静かな町

- 「アイヌコタン」昔はにぎわっていたけど最近は静かすぎる。何かひと工夫して人々が集まる様に考えていけばどうか。
- アイヌ文化を多くの人に伝統を伝え知ってもらいたい、アイヌ文化博物館を楽しんでいます。
- 白老町は食材がとても豊富なので、外から来た方達にも自慢して良いと思う。おいしい料理を作れるとなお良い
- 地方の特産品、PR、現地は比較的雪が少なく住みやすい事、白老町の顔である商店街の活性化が必要と思います。
- 住んでみて霧が多いのにビックリしました。この霧をいかして何か！出来ませんか。霧の散歩道を作るとか（折々に何か仕掛けがあったりすると、散歩も楽しいし、子供も大人も楽しめるような、、、）
- 白老町の食材、特産品、自然が多い。
- 道外の知人が来町の際仙台陣屋、ポロト、町内の飲食店へ案内しましたが、町民であるこちらが無知でした。学芸員の方の説明でずいぶん喜んでいただけました。町内に住む子供達も身近な施設にふれる機会を作ってあげる必要を感じました。又食についても本当に充実を感じました。もっともっと有効活用しましょうよ。
- 牛肉まつり
- 町外の人に白老牛良いよねと言われるとうれしい。現在の知名度はわからないが大きく PR できるものだと思う。
- 山、海の物が豊富で美味しく温泉が有り、外から来た者へ（移住者）もやさしい町、子育て世代、中年層が将来住みやすい町だと思います。
- 博物館（国立）ができる白老町なのだから、ポロト湖周辺に「道の駅」や「キャンプ場」「プチ動物園」など集客できそうな施設があれば、もっと盛り上がるのではないのでしょうか。
- 安全、住みやすい
- 白老町の食材についてはかなり広まっているので引き続き継続し、その他として、今あるポロトの温泉がよいのでアイヌ国際博物館の関連もあると思いますが、今より従充実した形で残し、PR 出来たらと思う。
- 1、牛肉、タラ子、しいたけ、温泉、豊かな海、森林、魚介類等、もっと発信してほしいと思います。
2、国立のアイヌ民族博物館もこれから期待しています。
- ポロトコタンを主に町づくりしてほしい。
- 白老牛やタラコ、ポロトコタンなどはPRされているので、他に新しく発信できるもの必要。道の駅は実現されれば町のPRには最高だと思います。幸い、おいしい食材もあり、場所的にもぴったりだと思う。
- 自然があつて海、山の幸に恵まれている白老。タラ子かきの子など町のなじみやすいキャラクターを作ってPRすると子供やお年寄りにも愛されると思います
- のんびりと静かで住みやすい、だが今の時代家を建て永住は難しい
- 白老産食材を前面に出し、白老収穫祭の様な食のまつりの実施。
- 1、天然温泉 2、冬の雪が少ない事 3、国立博物館の建設のPR
- 環境：自然が豊かなところ。食：有名なものを全面的にアピールすべき！
- 白老牛、温泉
- 農畜産物、水産物魚介類の新鮮抜群の味覚が自慢の食材が多い。増加傾向が見込まれる観光客の食の安心安全に大いに利用すべき。白老といえばポロトコタン、白老牛、毛ガニです。
- 海あり山あり温泉ありでのんびり暮らすには最高の所とっております。
- 温泉、海産物、白老牛、自然環境
- ポロト湖と周辺の森、白老牛、虎杖浜産タラコ等の食材
- 雪も少なく温暖で一年中穏やかに過ごせること都会ではないが不便することのない田舎であること
- 白老に旅に来て何一つ土産がない。アイヌの踊りしかない。ニポポとかチセ（アイヌの小屋）のモナカ（最中）などの菓子を考えてみては？
- 温泉設備の充実、余りにも汚いので、きれいにして活用してほしい。
- 冬は雪が少ない事、夏は涼しい事

- 食品の豊富さを生かしもっと広く食材を PR し広めるといいと思います。海、山、など自然な食材だけでなく、しいたけや白老牛などたくさんおいしいものがあるじゃないですか。
- 自然豊かである。おいしい食べ物がたくさんある。
- 白老町は観光（ポロト、温泉）農業（白老牛、タラコ、たまご、しいたけ）漁業があるけれど全体としてのネットワークが足りないと思います。
- 食べ物、温泉、雪が少ない
- 庭にカササギが毎朝、降り立つ事。白鷺が巣づくりする林がある事。カモが川にいる事。鳥達が住める水と自然がある事。水がおいしい事。古い水道管は取り替えましょう。下水道の普及率が高い事。温泉に入った後のご飯とビールがうまいこと。
- 四季を通して涼しい夏、雪の少ない冬など、本州の方にぜひ体験して欲しいし PR して移住者を増やしたい。
- 魚介類や白老牛の美味しい街、春はたけの子や山菜、温泉で肌はツルツル若返り、冬は雪が少なくあたたかく 200 歳まで元気
- 温泉、魚介类等々の PR 活動。観光地への遊園施設を！！（ポロト等）
- 道の駅があれば今迄よりも地元の名産品を知ってもらえる事ができると思います。
- 温泉
- 白老牛
- 温泉、馬、牛、魚介類
- 先住民との共生、敬意の念
- 白老牛や温泉やポロトコタンなど、白老には良い物や良い所がたくさんあるので、今後も PR してほしいです。
- 自然がいっぱい、雪が少ないこと
- 雪が少なく住みやすい環境。食物がおいしい。
- 食べものがおいしい事（白老牛やたらこなど）もっともっと全国に PR してほしいと思います。テレビでの PR が 1 番効果的ではないでしょうか。白老の名産を使ってどこかの業者とコラボ製品などで PR できたら良いと思います。
- 世界最大の気象会社ウェザーニューズ（千葉）で天気番組「SOLIVE24」を作っているプロデューサーが白老出身なので連携してイベントや公演会等開催すべき。食材王国、美味しい水、豊富な自然を五感で楽しめるようなツアーを展開して道内外から注目してもらえるような PR が必要。夏休み時間に“親子白老満喫ツアー”自転車町内をまわる企画もアリ？
- 北海道の中でも比較的温暖な地で特産物などにも恵まれ観光面からも可能性のある町です。
- 白老には自然がたくさんで、白老バーガーなどおいしい。
- 自然が豊か。大きな町に比べ町民の声が届きやすい所。社会福祉施設の充実。
- 白老牛、マザーズ
- 豊かな自然と数々の特産品。特に競走馬の生産地としての PR をもっとしてもよいと思う。
- アイヌ文化は国民に感心がないので観光としてもうからない。時代に合った PR をすべき。Twitter や FaceBook の活用。ふるさと納税の充実。恵まれた自然を生かした観光（キャンプ場、特産品を使った BBQ 施設）障害者や高齢者を増やす町づくりは未来がない。余計若者が寄ってこない。
- 白老牛がおいしい
- 緑豊かな自然。豊かな食材。豊かな温泉、今後のポロト観光
- 白老牛やたらこ等「食」に関しては本当にすごいと思います。
- 雪は少なく、夏は涼しく、札幌、新千歳も遠くなく、高速もあり、特急で停まる住みやすい街だという事
- アイヌや地元の産品を広く PR すべきだと思う。